

Mobirta Pitch Deck

モビリティの「点検ゼロ秒時代へ」

INTRODUCTION

会社概要

Founder : 田島 昇一 (Shoichi Tajima)



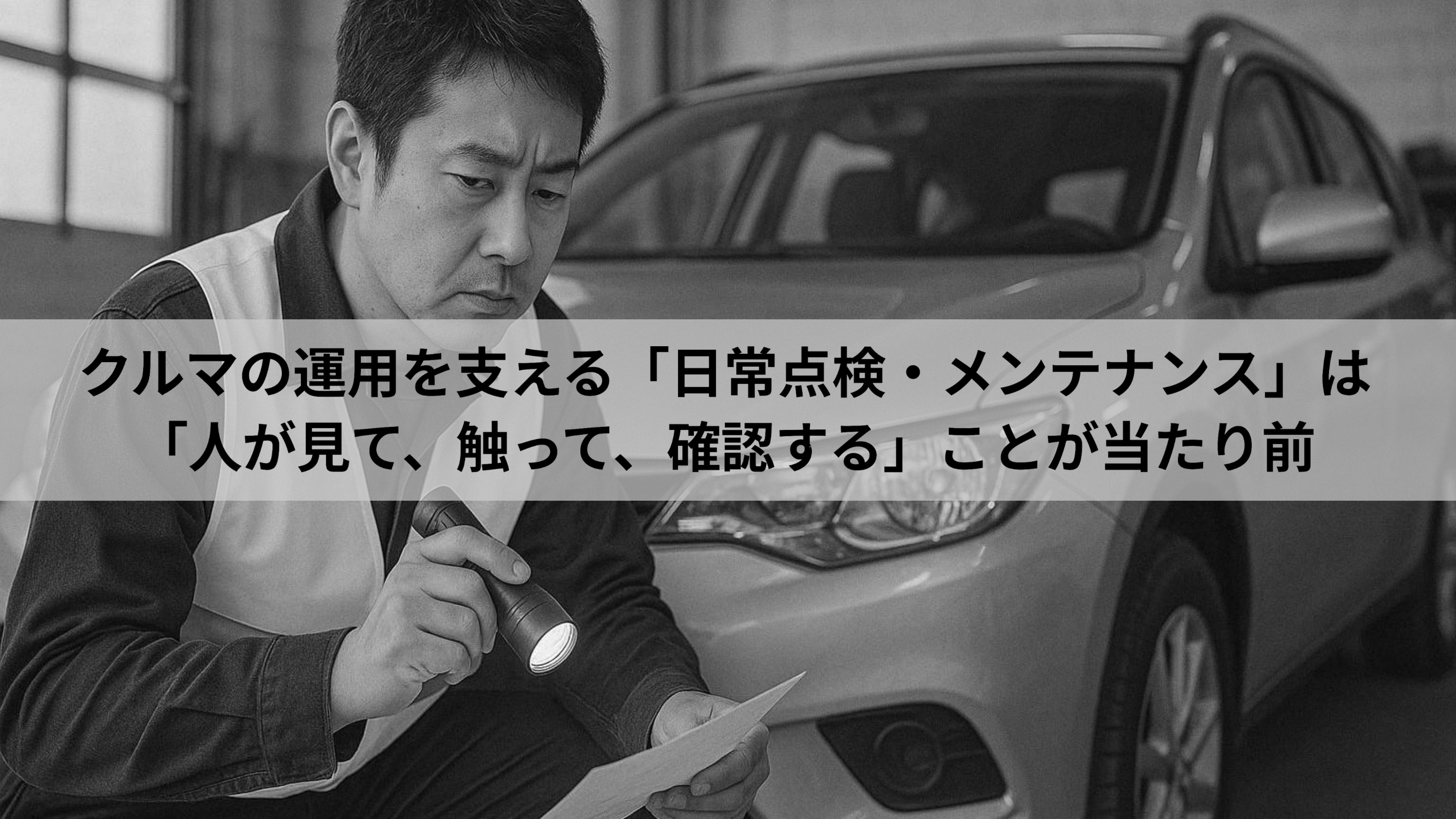
[2013~2025]

ハードウェアエンジニア（エンジンECU、自動運転ECU）
モビリティサービス事業者向けの新規事業企画

[2022~]

社内ベンチャーからスピンアウト

MISSION :モビリティ社会の、次の100年を創る

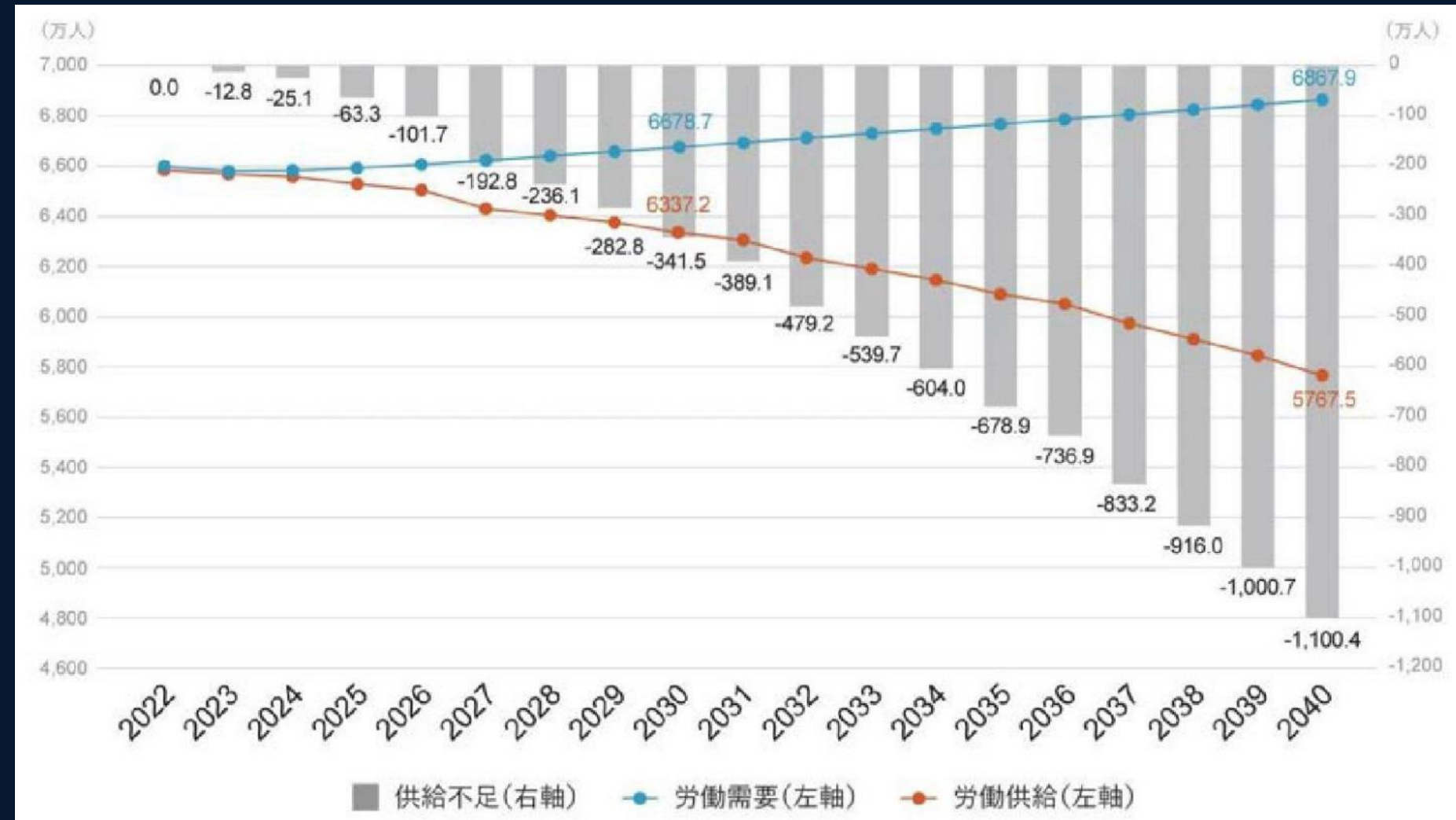
A black and white photograph of a man, likely a car inspector or mechanic, wearing a white safety vest over a dark jacket. He is holding a flashlight in his right hand and a piece of paper in his left hand, looking down at the paper with a focused expression. In the background, the front of a car is visible, including the headlight and side mirror. The scene is set in what appears to be a garage or workshop with large windows in the background.

**クルマの運用を支える「日常点検・メンテナンス」は
「人が見て、触って、確認する」ことが当たり前**

PROBLEM

もうすぐ来る「点検を受けられない時代」

人口減少が進む日本では、働き手は今後も減り続ける



リクルートワークス研究所「未来予測2040 労働供給制約社会」より

働き手不足

2025年：63万人



2040年：1100万人

人に頼ったやり方を続けていると、業務が回らなくなる局面が必ず来る

PROBLEM

特に顕在化している課題

レンタカー事業者が行う
貸出前チェック



PROBLEM

貸出前チェックとは

レンタカー返却～次回貸出までに実施する作業



洗車



清掃

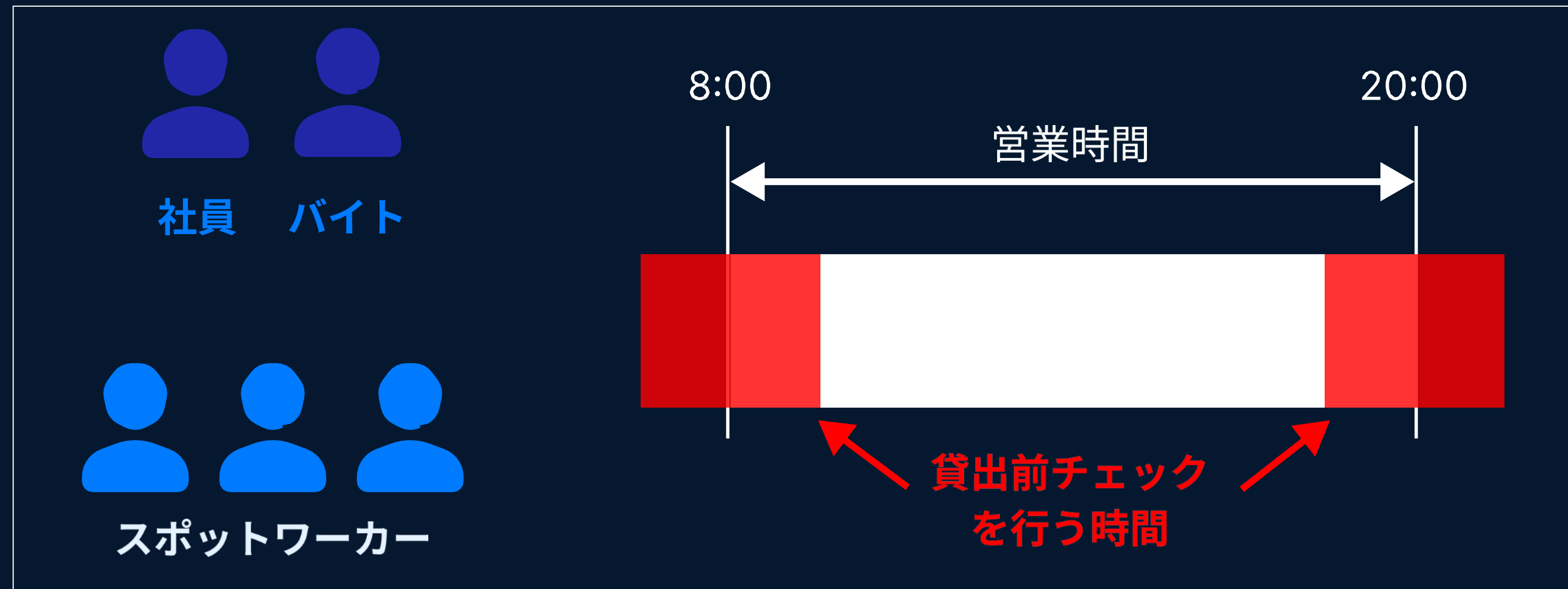


点検

PROBLEM

課題：繰り返し行われるチェックの負担

1台1台手作業で実施。担い手の確保に苦労している
クルマが店舗に無いといけないため、朝 or 夜間に行う事が多い



【問題】

- ① 労務コストの増大
(残業対応、賃上げ)
- ② チェック効率の悪化
(作業に不慣れ)
- ③ 品質 (見たつもりになっていないか...?)

PROBLEM

特に、タイヤチェック（空気圧/外観）の負担が大きい

- 安全に関わる部品
- 器具を使った計測作業が必要
- 時間がかかる（5~7分）

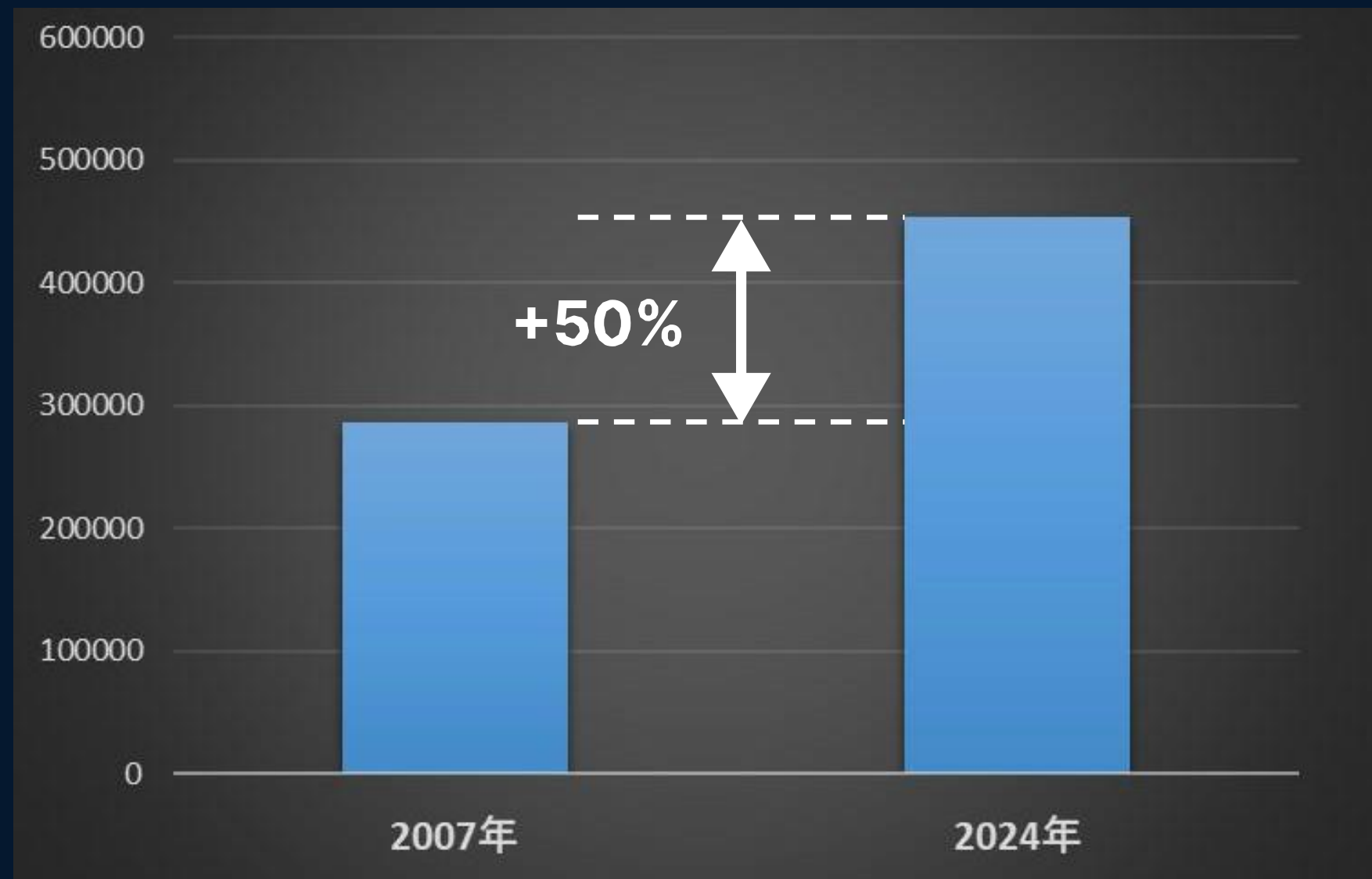


PROBLEM

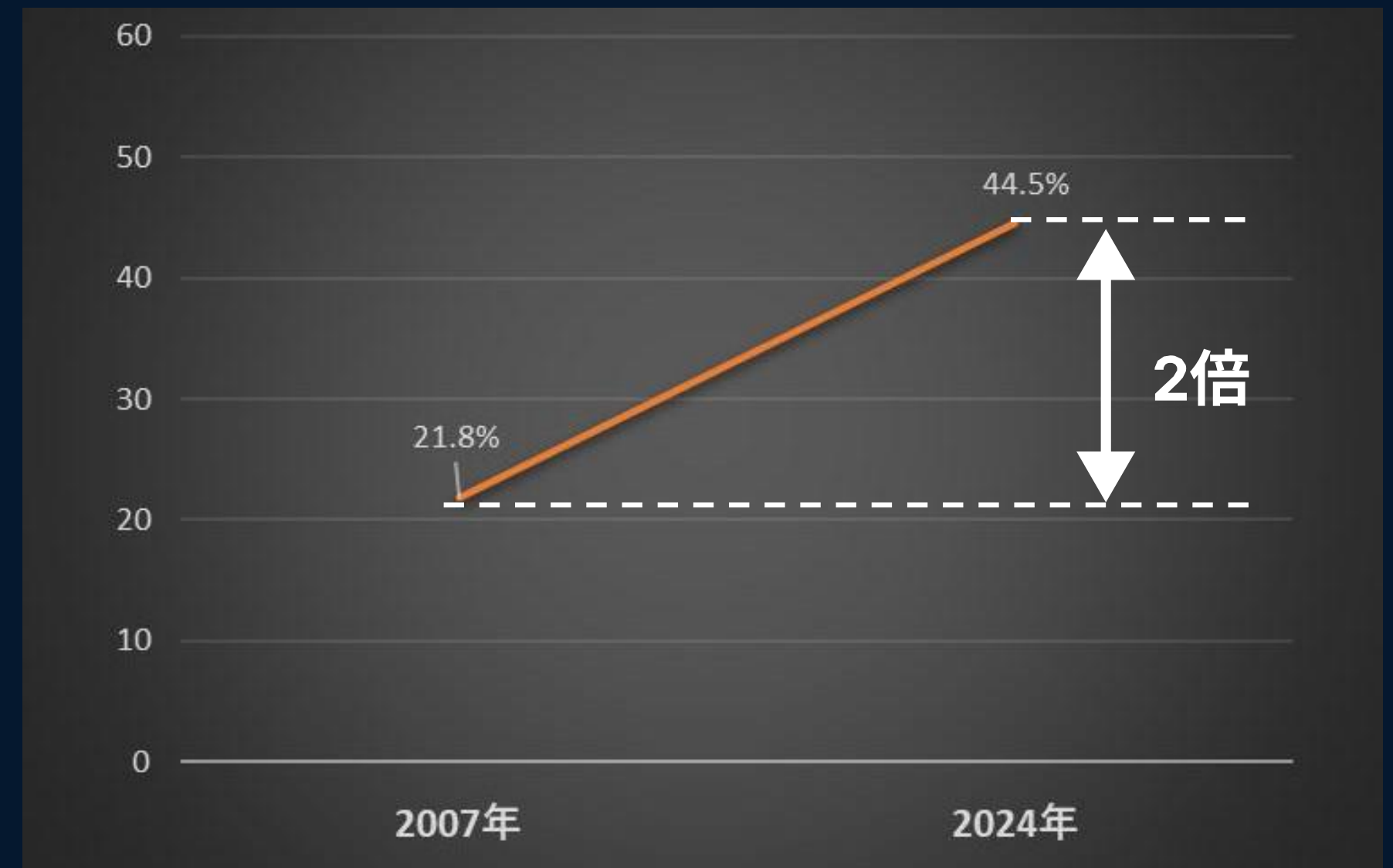
近年、タイヤの故障が増え続けている

タイヤに関するロードサービス出動件数が、約20年間で50%増加
主要因はメンテナンス不良（空気圧不足etc...）。その車両割合も2倍に増加

タイヤに関する出動件数



空気圧不足の車両割合



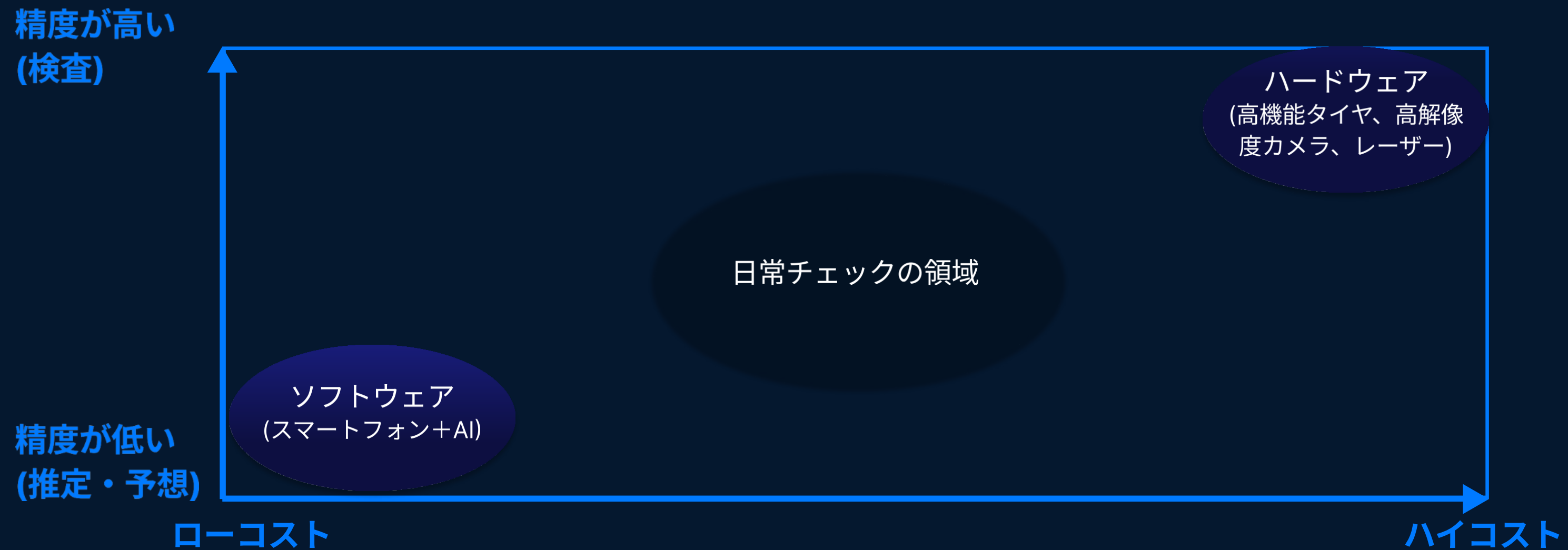
チェックしない訳にはいかないが、担い手がいらない。

PROBLEM

なぜ、人の目でチェックし続けているのか？

コストと精度のバランス

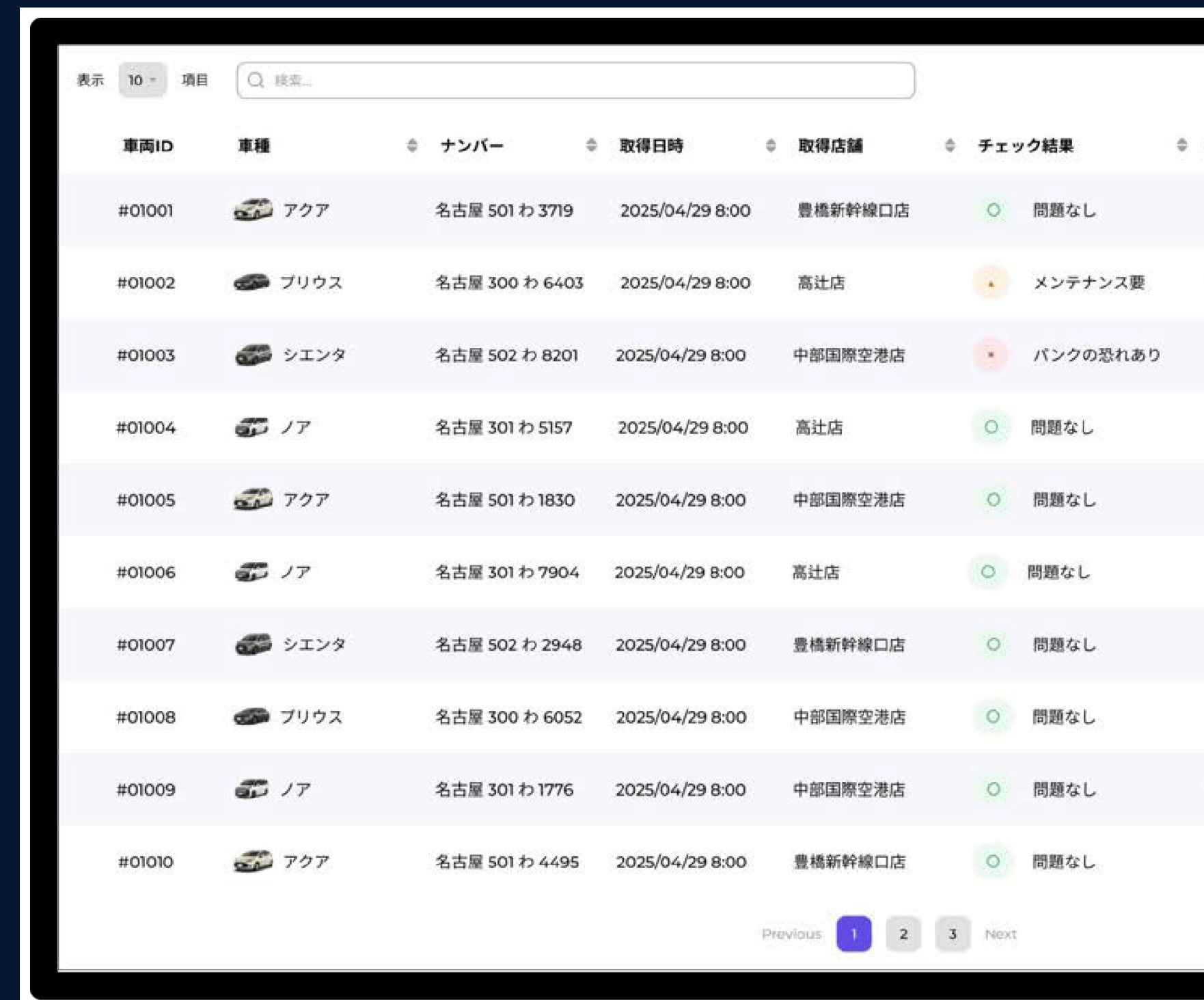
一つのミスが生命にかかわる。万に一つでも間違っではいけないが、大規模な設備導入は困難
一方、ソフトウェアによるソリューションは精度的に不安（よく分からない）



顧客にとって必要な日常チェック作業を、シンプルな手法で自動化する

「タイヤスコープ」 ～業務車両の足元を、テクノロジーで見守る～

- ✓ チェック作業を自動化
→ ゼロ秒チェックを実現
- ✓ システムがメンテナンス要否まで判定
→ 属人化させない。誰でも使えるサービス
- ✓ 簡単なデバイス装着のみで利用可能
→ 現場の導入負担が軽い



The screenshot displays the 'Tire Scope' web application interface. At the top, there is a search bar with the text '検索...' and a dropdown menu for '項目'. Below the search bar is a table with the following columns: '車両ID', '車種', 'ナンバー', '取得日時', '取得店舗', and 'チェック結果'. The table contains 10 rows of data, each representing a vehicle inspection. The 'チェック結果' column uses colored circles to indicate the status: green for '問題なし' (No problem), orange for 'メンテナンス要' (Maintenance required), and red for 'パンクの恐れあり' (Risk of puncture). The interface also includes a pagination bar at the bottom with 'Previous', '1', '2', '3', and 'Next' buttons.

車両ID	車種	ナンバー	取得日時	取得店舗	チェック結果
#01001	アクア	名古屋 501 わ 3719	2025/04/29 8:00	豊橋新幹線口店	問題なし
#01002	プリウス	名古屋 300 わ 6403	2025/04/29 8:00	高辻店	メンテナンス要
#01003	シエンタ	名古屋 502 わ 8201	2025/04/29 8:00	中部国際空港店	パンクの恐れあり
#01004	ノア	名古屋 301 わ 5157	2025/04/29 8:00	高辻店	問題なし
#01005	アクア	名古屋 501 わ 1830	2025/04/29 8:00	中部国際空港店	問題なし
#01006	ノア	名古屋 301 わ 7904	2025/04/29 8:00	高辻店	問題なし
#01007	シエンタ	名古屋 502 わ 2948	2025/04/29 8:00	豊橋新幹線口店	問題なし
#01008	プリウス	名古屋 300 わ 6052	2025/04/29 8:00	中部国際空港店	問題なし
#01009	ノア	名古屋 301 わ 1776	2025/04/29 8:00	中部国際空港店	問題なし
#01010	アクア	名古屋 501 わ 4495	2025/04/29 8:00	豊橋新幹線口店	問題なし

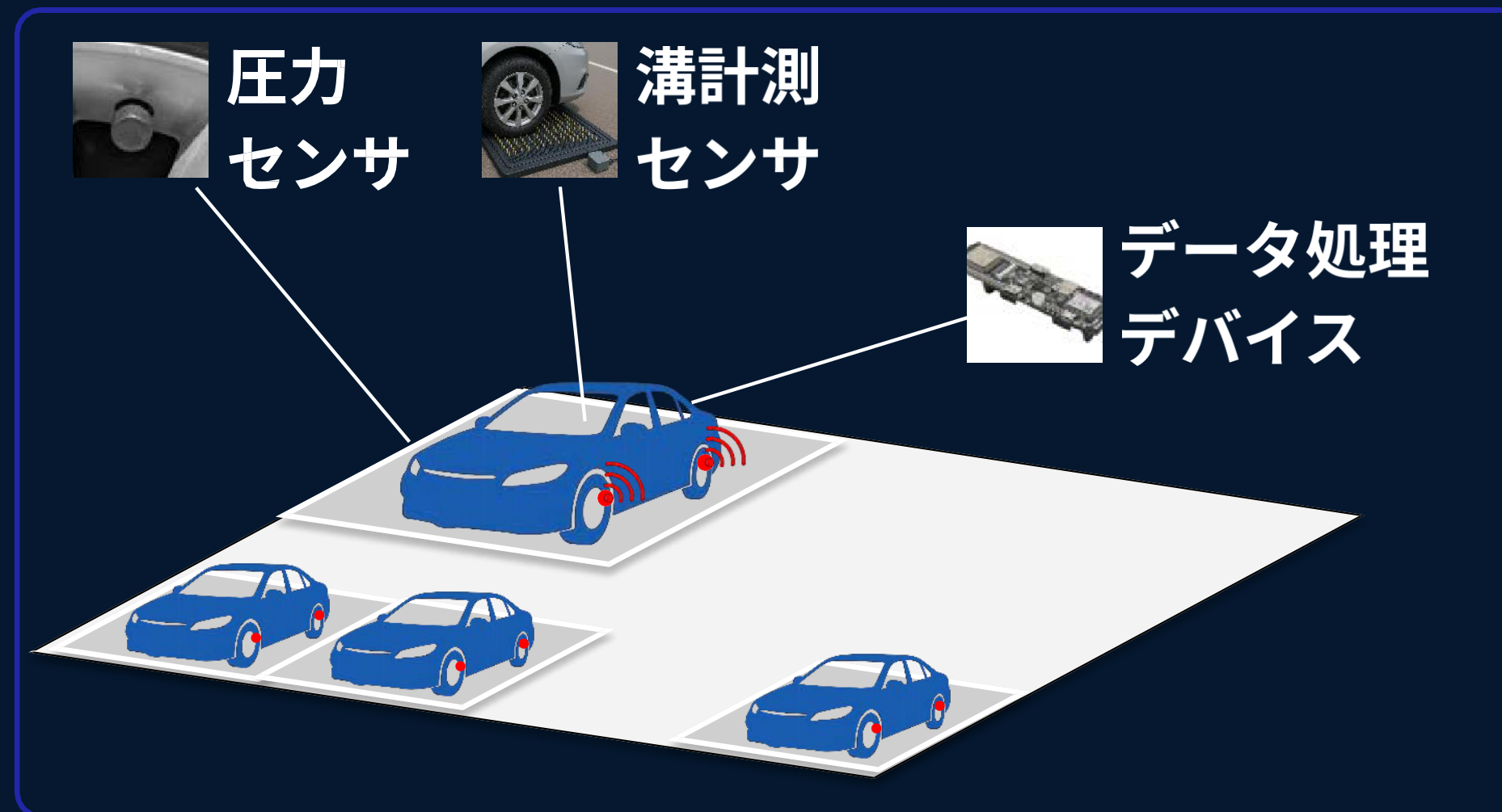
サービス概要

簡単なセンサによりタイヤチェックの計測作業を代替する。

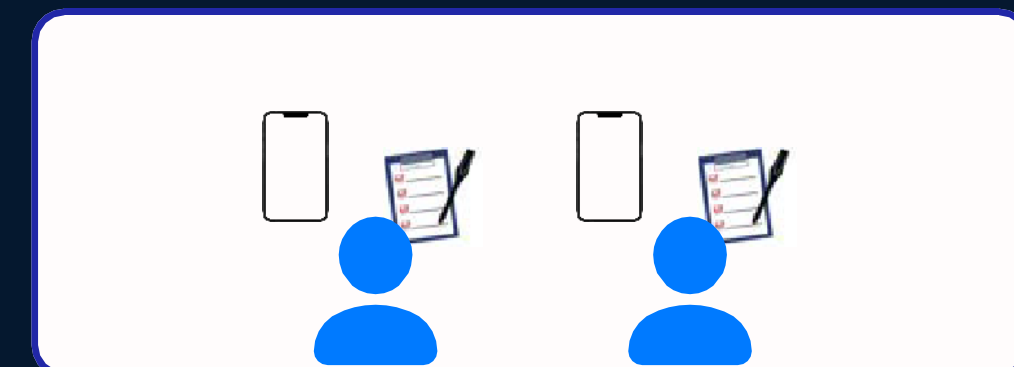
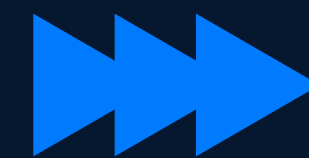
現場：計測作業を行わずチェック可能になる

管理者：結果の一元管理が可能になる

現場の負担を減らしつつ、抜け漏れをゼロに

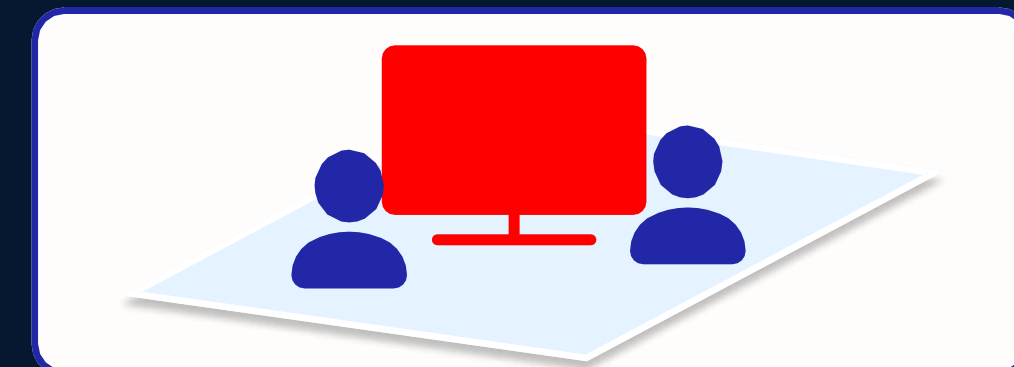
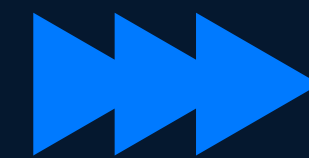


各車両にセンサを装着し、計測



【作業者】

計測作業を行わずチェック可能



【管理側】

チェック結果の一元管理ができる

PRODUCT

空気圧の計測

各車両員センサを装着し、駐車中の車両から空気圧データを一括で収集・分析。



PRODUCT

残溝の計測

タイヤ溝計測に特化したマットを開発。チェック作業を行うエリア（駐車場等）に配置
マットには変位できるピンが多数配置されており、センサによりピンの変位を電気信号に変換し溝を計測



PRODUCT

作業者用アプリ

ナンバーを入力すると、最新の計測結果が表示される
誰でも使えるよう、シンプルで直感的に操作しやすいUI

The screenshot displays the app's interface. On the left is a numeric keypad with a display showing '9739'. Below the keypad is a blue button labeled '表示する' (Show). To the right, the car model '三河301や9739 ヤリス' (Mikawa 301 or 9739 Yaris) is listed. Below this, a top-down view of the car is shown with four data points for tire pressure and temperature:

Position	Pressure (kPa)	Temperature (°C)
Front Left	240	25
Front Right	236	24
Rear Left	220	25
Rear Right	226	24

管理者用アプリ（チェック結果の一元管理）

画面ひとつで全てのクルマの状態を把握可能に。メンテナンス必要な車両が一目でわかる
過去のチェック結果を一律で参照可能



メインメニュー

タイヤ空気圧

タイヤ外観

集計・分析

環境設定

タイヤ空気圧

検索条件：

取得店舗

ナンバー入力（半角数字4桁）

チェック結果

検索

100件中 1-50件を表示

表示設定

取得店舗	車種	ナンバー	計測日時	チェック結果	設定空気圧（前輪）	設定空気圧（後輪）	空気圧（左前）	空気圧（右前）	空気圧（左後）	空気圧（右後）
豊橋新幹線口店	シエンタ	名古屋 501 さ 3719	2025/04/29 08:00	メンテ要	240-264 kPa	240-264 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa
高辻店	アクア	名古屋 501 さ 3719	2025/04/29 08:00	問題なし	240-264 kPa	240-264 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa
中部国際空港店	プリウス	名古屋 501 さ 3719	2025/04/29 08:00	メンテ要	240-264 kPa	240-264 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa
高辻店	アクア	名古屋 501 さ 3719	2025/04/29 08:00	問題なし	240-264 kPa	240-264 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa
豊橋新幹線口店	シエンタ	名古屋 501 さ 3719	2025/04/29 08:00	メンテ要	240-264 kPa	240-264 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa
中部国際空港店	ノア	名古屋 501 さ 3719	2025/04/29 08:00	パンク恐れ	240-264 kPa	240-264 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa	250 kPa

導入効果：チェック業務の省力化

計測作業の削減により、チェックにかかる労務費を大幅に削減できる **(1店舗当たり21万円/月 削減)**

【100台保有するレンタカー1店舗当たりの効果試算】

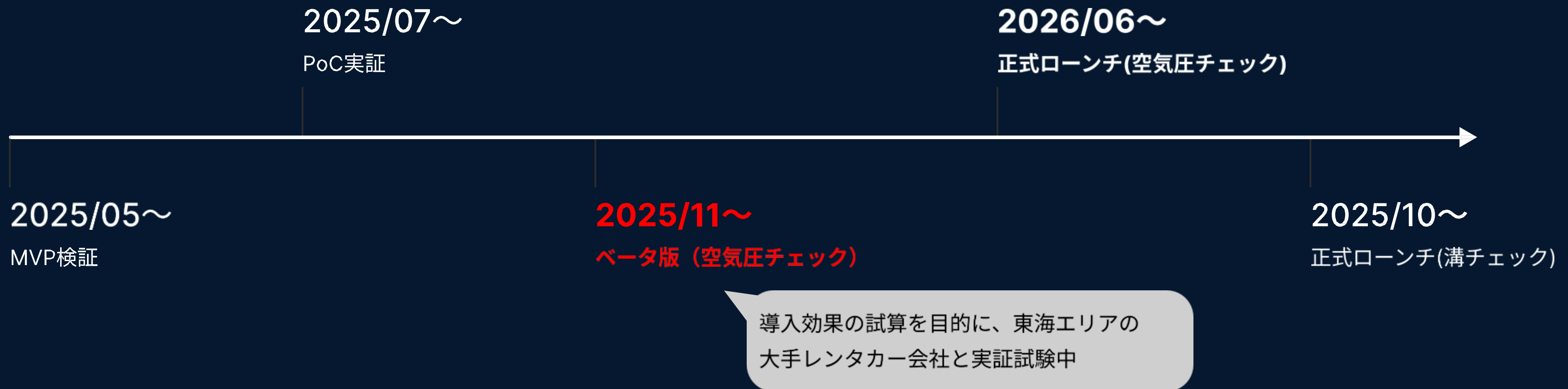
空気圧チェック：315,000円/月		溝チェック：126,000円/月	
利用料(空気圧)： 160,000円/月		利用料（溝）： 60,000円/月	

【計算条件】

タイヤチェックにかかる時間(1台当たり)：空気圧5分/2分、稼働率：70%、労務費：1時間当たり1800円

MILESTONES

スケジュール

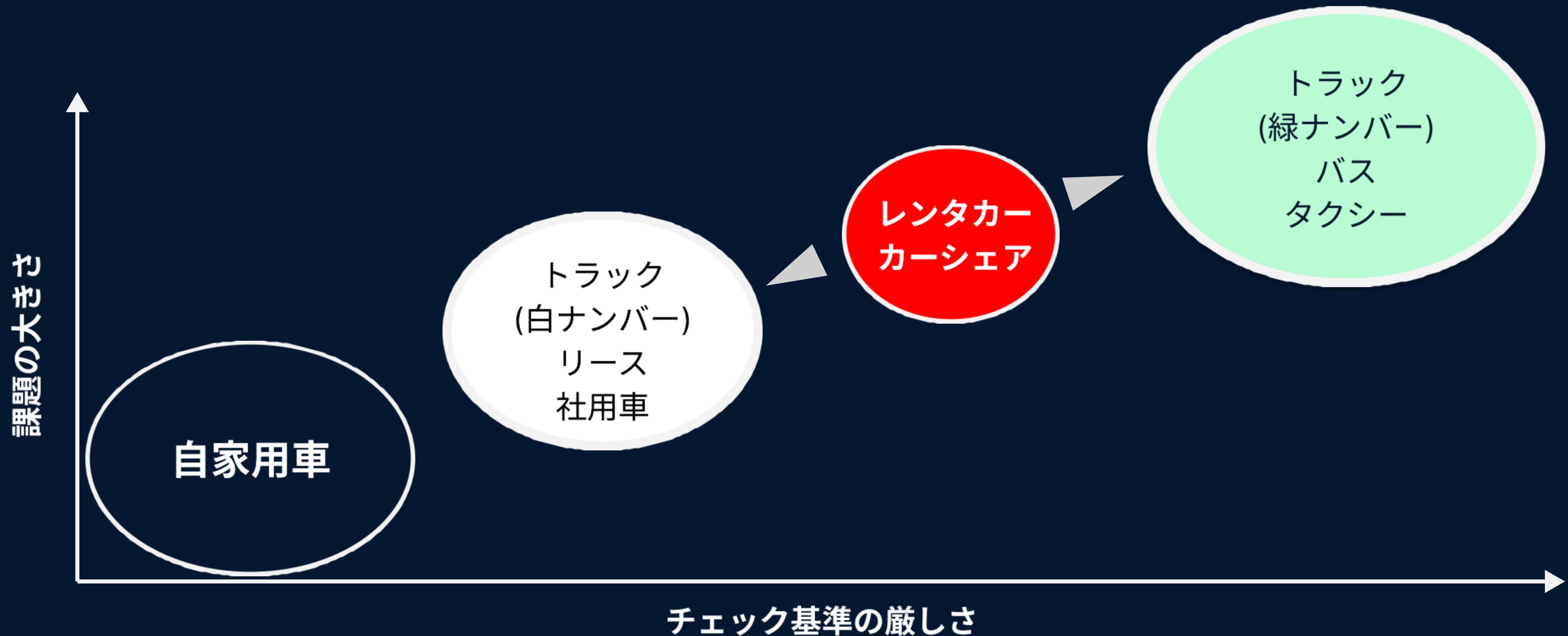


ベータ版ユーザーを募集しています！

FUTURE

将来ビジョン：拡大戦略

モビリティを使ってビジネスを行う事業者向けに拡大していく



FUTURE

将来ビジョン：新しい時代の点検インフラを創る

“人の目に頼る点検”をすべてデジタル化し、遠隔で点検が実施できる世界を創る。

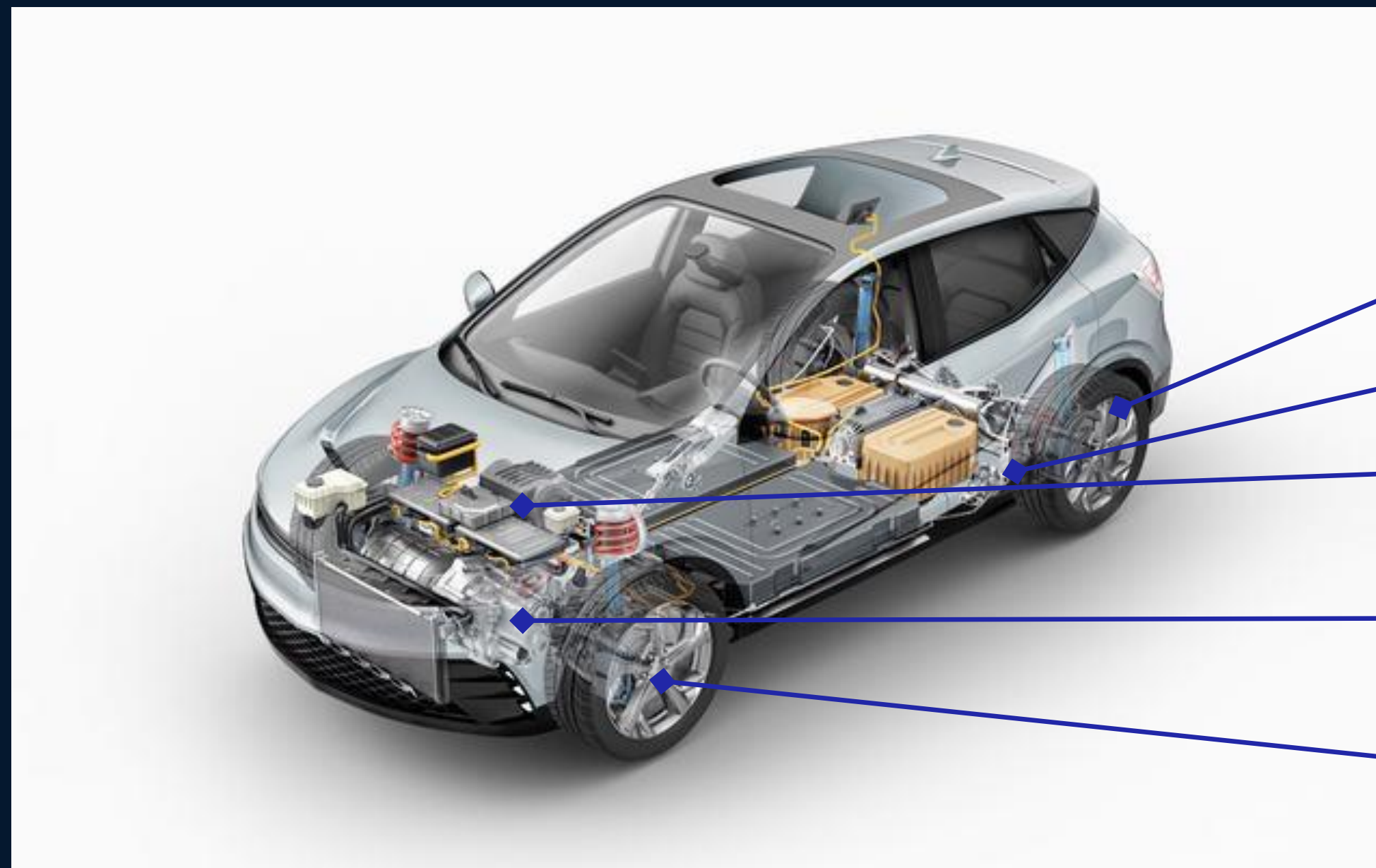


限られた人材でモビリティを安全に支え続ける

FUTURE

将来ビジョン：メンテナンス革命で、モビリティの足元を支える

コンピュータで監視できない部分（電氣的に接続されていないもの）をターゲットにデジタル化



タイヤ

外観（キズ）

フィルター類

ランプ類

ブレーキパッド

車の安全を支える基礎部分を、すべてデータで把握できる世界を作る

将来ビジョン：蓄積したデータの資産化

紙で書いたまま使われることがなかったチェック情報を活用

- ・ 部品交換タイミングの最適化（部品交換費用の削減）
- ・ 部品開発における目標性能の最適化（過剰品質の抑制）
- ・ 部品の劣化度合と事故リスクとの相関データの導出

デジタル化された点検データを資産に変えていく

